



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2014年4月②発行

鴨川上流に産業廃棄物がゴロゴロ

京都新聞記事でも紹介されましたが、台風18号で盛り土が削られ、鴨川上流で産業廃棄物があらわになっている状況を、倉林明子参議院議員と浜田府会議員、雲ヶ畑の地元の方と一緒に現場調査に行ってきました。

放置していたら危険な箇所があったり、法的に対処が困難な状況もありますが、美しい鴨川上流の清流を守ること、二次災害を防ぐために放っておくわけにはいきません。今度、大雨が降り増水すれば、崩れそうな所がいくつかありました。

京都府や京都市の担当課に状況を聞きましたが、府の仕事だとか、市の仕事だか、法的に根拠がないなどと言っている場合ではなく、こういう場合にこそ、府市協調でできることを探り、早急に対処するべきだと思います。



雲ヶ畑の河川の状況を調査する左から倉林明子参議院議員、玉本なるみ市議員



昨年夏の台風18号の被害は大きく、大きな流木が流れたり、水流により河川敷の盛土がえぐり取られ、997年の廃棄物処理法の改正前に埋められた産業廃棄物としてあらわになっていました。

シリーズ 福祉の後退許さない闘いを！①

来年度に向けて、国も京都府、京都市も福祉の大きな後退を進めています。毎号で報告していきます。

『敬老乗車証』

京都市は長年実施してきた敬老乗車証を大きく変えようとしています。現在は年に1回3000円～15000円の負担金を払えば、京都市営地下鉄と市バスを自由に乗ることができます。しかし、それを一回乗るごとに100円程度の負担をするやり方に変えようとしています。

市は低所得者に対して、何回かの無料券等の発行も検討しているとしていますが、市バス地下鉄を利用する必要がある人ほど負担が重くなることとなります。住んでいる地域により、交通事情も違います。市バスに乗りたくても、バスが走っていない地域もあります。高齢者の社会参加を進めるためにも、市内くまなくバスを走らせる対策もしないまま、負担だけ増やすやり方は「敬老」とは言えません。

「今の制度を続けてほしい」という運動は広がっていますが、もっと広げていく必要があります。

署名活動が引き続き取り組まれています。ご協力をお願いします。

つぶやき：「指定ゴミ袋」

選挙中にご意見をいただいていた京都市の指定ゴミ袋の中国産となっていることについて、京都市に再度聞き取りをしました。

ゴミ袋の製造は公共事業として、競争入札で決めています。袋の強度や値段を指定しているため、入札した業者が、日本の製造業者に発注をかけず、安い労働力で作れる中国やベトナムで作らせているということです。おそらくその結果、日本の製造業者の仕事が減り、日本の労働者の働き場も減るといふ悪循環が起こっていることです。儲けばかりを優先させる資本主義社会の問題だと思います。労働者の働く権利と賃金を保障するシステムが必要です。

憲法9条守ろう！

アンテナ

新日本婦人の会の集まりがあり、参加しました。会員さんから、「ごんなの作ってみた」と写真の9をもじった飾りを持って来られました。これを玄関に飾って、それとなく、平和憲法9条を守ろう」という意思表示になるのとのこと。参加した会員さんからもそれはいい！さっそく、その方の家での作成日が決められました。

ペンダントなどの9条グッズはよく作られ、私もしています。それが変わった形のブローチですね」と声をかけられ、話題になります。クリスマスなどの時のリースの様に玄関に多くの家で飾ってもらえたら、いいなと思います。工夫を凝らして、平和の日本を子ども達に渡せるように頑張りたいです！



板は、かまぼこ板です。

